

# 1. 平成19年度予算の基本方針

平成19年度予算の執行に当たっては、「愛・地球博」の開催にあわせて整備された社会資本による効果の継続と、近い将来発生が危惧される東海、東南海・南海地震や頻発する水害・土砂災害等の災害に対する脆弱性の克服、及び「愛・地球博」のテーマである「自然の叡智」の継承や魅力ある地域づくりのため、以下の基本方針に基づき社会資本整備を強力に推進していきます。

## < 基本方針 >

### 1. 安全安心を支える国土基盤づくり

近年の災害に対する国土の脆弱性の克服を目指すとともに、頻発する濁水、発生が懸念される高潮災害や東海、東南海・南海地震にも対応し、安全・安心を支える国土基盤づくりを推進します。

### 2. 「中部のげんき」を支える国土基盤づくり

「中部のげんき」を持続、発展させるための「陸・海・空」の拠点整備及び交通網の構築を推進し、中部のものづくり産業の国際競争力と地域間の交流・連携の強化を図ります。

### 3. 良好な環境、魅力ある暮らしを支える地域づくり

「自然の叡智」の理念のもと、健全な水・物質循環を構築するための自然再生を図るとともに、本来地域が持っていた原風景や美しい景観の保全及び環境対策を推進します。

豊かな生活と活力ある経済社会の構築を図り、都市の再生、少子高齢化社会への対応するため、魅力ある暮らしを支える地域づくりを支援します。

生活に密着した社会資本整備の推進により、中山間地域でも安心できる生活環境を確保します。

**平成19年度は、上記基本方針の推進とともに、以下の施策についても取り組んでいきます。**

現在までの成果を維持、発展、更に確実なものにしていくための施策の推進と、当該年度完成事業を総仕上げするため重点投資を図ります。

平成19年度は、中部地方の将来を見据えたビジョンとして「国土形成計画中部圏広域地方計画」の策定や「まんなかビジョン」の改訂を推進します。

事業の実施にあたっては、地域と協働でハード・ソフト両面から中部地方を支える社会資本整備に取り組むとともに、総合的なコスト削減を図りながら公共工事の品質を確保していきます。また、平成18年10月以降、原則全ての工事での一般競争入札方式を実施しているところですが、引き続き、競争性・透明性の向上のため入札契約制度の改善に取り組めます。

## < 19年度予算の概要 >

平成19年度の整備局全体の予算額は、1兆 202億円(対前年比0.99)

平成19年度の完成予定箇所は88箇所(直轄、補助事業計)

新規事業箇所は85箇所(直轄、補助事業計)

## <トピックス>

### 豪雨等の災害に対する脆弱性の克服

平成18年7月豪雨への対応として、本川堤防が決壊した天竜川では河川激甚災害対策特別緊急事業(資料編 -22 参照)を推進します。また、豪雨時に一時通行止めとなった一般国道19号では、桜沢改良(資料編 -5 参照)を新規事業着手します。これらにより、災害に対しての脆弱性を克服し、また、安全で信頼性のある道路ネットワークが構築されます。

### 環伊勢湾地域を結ぶ大動脈の開通に大きな一歩

一般国道23号名豊道路・中勢道路は、環伊勢湾地域の諸都市と港湾・空港を結ぶ大動脈です。これまで名豊道路の蒲郡バイパス(7工区)(L=9.1km) (資料編 -3 参照)及び中勢道路の7工区(L=2.9km)と11工区(L=2.0km) (資料編 -4 参照)が未事業化区間でしたが、今回、これらの区間が事業化されたことにより、全ての区間で事業着手され、環伊勢湾地域を結ぶ、大動脈が全線開通に向け大きな一歩を踏み出すこととなります。

また、一般国道1号静清バイパスでは一部4車線化(L=4.1km)・立体化(L=1.4km) (資料編 -12 参照)します。

これら基幹道路の整備により物流の効率化・競争力の強化を図ります。

### 都市でも中山間地でも安心して暮らせる環境を確保

名古屋駅周辺は、近年、高層ビルが多く建設されており、平成19年度は名駅四丁目27番地区優良建築物等整備事業(スパイラルタワーズ(仮称)) (資料編 -17 参照)が完成します。また、名古屋の中心市街地である一般国道19号の伏見地区では自転車と歩行者を分離する整備(資料編 -16 参照)をします。これにより名古屋都心部のさらなる魅力向上を図ります。さらに、地域の創意工夫を活かした多様な都市の再生をまちづくり交付金を活用し、新たに浜松駅周辺地区他20地区で推進します。

「命の道」としての近畿自動車道紀勢線整備の他、中山間地や半島部において、以下の道路の開通で、より安心して生活できる環境の整備を進めます。

- ・一般国道42号熊野尾鷲道路 延長 L=5.0km(資料編 -9 参照)
- ・一般国道158号中部縦貫自動車道 高山清見道路 延長 L=6.5km(資料編 -10 参照)
- ・一般国道414号伊豆縦貫自動車道天城北道路 延長 L=1.6km
- ・一般国道474号三遠南信自動車道飯喬道路 延長 L=7.2km(資料編 -11 参照)